

1. 八戸漁業用海岸局

I 事業目的

国並びに県等の試験船，取締船及び一般漁船との間に漁業指導監督通信を行うことにより人命財産の保全，航海の安全，海難の防止，漁場の適正管理，操業秩序の維持による漁業生産の向上安定をはかる。

特にソ連等200カイリ海域内における指導通信を強化する。

II 事業内容

1. 実施期間 昭和51年4月1日～昭和52年3月31日
2. 担当職員 局長 佐々木 光 男
主任 尾崎 義 隆
主任 目時 利 悦
技師 日下部 恒 雄
3. 指導監督通信の種別 20種
4. 遭難通信等航路保安通信 7種
5. その他の通信 5種
6. 交信対象海域 世界全域
7. 通信方式
無線電信，無線電話，超短波電話による三重通信。
8. 使用周波数
無線電信 10波
無線電話 15波
超短波 5波
9. 勤務形態
送信所，受信所（通信所）ともに周年無休で常時交替勤務。

III 事業結果

1. 管内船舶局数 電信船 80局
電話船 485局
2. 管内船舶通信士選任状況
S52.4.1現
電信級 105人
電話級 430人
特技甲 36人
特技レーダー 32人

3. 管内船舶通信士選解任証明状況

S 5 2.4.1 現

選任に関する証明 364件

解任に関する証明 334件

4 取扱通信実績

種別	区分	通数 (件)	時間 (分)	一日平均		備考
				通数	時間	
漁業	送信	10,823		29.7		
	受信	137,533		376.8		
小計		148,356	148,682	406.45	407.35	
気象通信		2,108	5,192	5.78	14.22	
漁況放送		365	4,649	1.00	12.74	
指導通信		32,653	33,821	89.46	92.66	
事故通信		76	1,140	0.21	3.12	
小計		35,202	44,802	96.45	122.75	
内航	送信	0	0			S 5 1.1 1.3 0 まで
	受信	460	2,514	1.5	8.3	
公衆通信		9,484	17,210	25.98	47.15	
合計		193,502	213,208	530.14	584.13	

5. 講習, 業務指導: 会議の実績

- (1) 違反通信防止指導会議 1回 47名
- (2) 非常無線通信訓練 3回 6日間
- (3) 漁業別通信指導会議 90回 約2,000名
- (4) 広報発行 2回 延1,400部
- (5) 施設見学 3回 延 70名

6. 文書取扱実績

収 受 1,722件

発 送 297件

IV 事業の成果及び今後の課題

1. 事業の成果

- (1) 諸無線通信を利用して漁業経営の安定合理化, 生産向上並びに海難防止に寄与した。
また関係諸団体の指導強化と法違反の防止につとめた。
- (2) 200カイリ内操業船の通信確保により事故の防止に努力した。
- (3) 送信所, 受信所相互間の通信回線を整備して通信停止等異常事態発生防止につとめた。

2. 今後の課題

基本的には洋上における人命財貨の保全につとめると共に今日の水産業危機に対応し生産向上と安定操業のため職員の増員，設備の整備，無線従事者の養成と指導，無線組合との業務提携をはかる。